

10/13 朝日

川内原発延長申請 40年超運転

九州電力は12日、2024と25年に運転開始から40年を迎える川内原発1、2号機（鹿児島県）について、20年間の運転延長を原子力規制委員会に申請した。岸田文雄首相が8月に原則40年最長60年の運転期間の延長を検討する方針を示して以降、初の申請とな

る。川内原発では1号機が24年7月、2号機が25年11月に運転開始から40年を迎える。昨年10月以降、運転延長に向けて設備の劣化などを調べる特別点検に入っていた。12日に会見した九電東京支社の浜田寛副支社長は、原子炉容器の傷を超音

波で見つける検査などをした結果、異常は見つからなかったと説明した。東京電力福島第一原発事故後の法改正で、原発の運転期間は原則40年となり、規制委が認めれば最長20年延長できる。これまでに認められたのは、関西電力の高浜原発1、2号機と美浜

原発3号機（いずれも福井県）、日本原子力発電東海第二原発（茨城県）の4基。うち美浜3号機が昨年6月に再稼働した。また、運転開始から37年が経つ高浜原発3、4号機（福井県）は、運転延長に向けた特別点検を進めている。経済産業省は、電力の安定供給などを理由に運転期間を延ばせるようにする法改正を検討している。

（山野拓郎、佐々木凌）